



2023年9月28日

## 「スマートリブ<sup>®</sup>（納品平準化ソリューション）」の提供開始について ～「サプライチェーントータルコーディネーター（SCTC）」を目指して～

株式会社NTTロジスコ(代表取締役社長：中江康二、本社：東京都中央区、以下「NTTロジスコ」)は、店舗や事業所等への納品量を平準化し、物流の2024年問題への対策強化を支援する「スマートリブ<sup>®</sup>(納品平準化ソリューション)」の提供を開始しましたのでお知らせいたします。

※スマートリブの「リブ」とは、リプレニッシュメント(意味：補充)を省略したものです。

### 1. 背景及び目的

近年、物流業界を取り巻く大きな問題として、物流の2024年問題が挙げられます。この問題により、今まで通りの配送ができなくなったり、配送に限らず人材不足が深刻化するなど、様々なリスクが考えられます。荷主企業においては、これらのリスクへの対策が求められますが、多頻度小口での納品や、小頻度での大量一括納品など、納品の頻度、物量にばらつきがあり、最適な在庫補充管理が困難だという声が聞かれます。

NTTロジスコでは、発注と補充の領域において、『適頻度適量』の納品を可能とし、納品量の平準化を実現する『ロジスティクスDXソリューション』を提供していますが、その中でも特に多くの問い合わせが寄せられる『納品量の平準化』に特化したソリューションを提供することとしました。納品量が平準化されることで、トラックの安定的な手配が可能となり、積載率も向上し、物流の2024年問題の課題解決につなげるとともに、環境に配慮した物流を実現することで、荷主様によるサステナブルな社会の実現に寄与します。

### 2. 「スマートリブ（納品平準化ソリューション）」について

#### (1)概要

トラックの積載率向上や物流センター業務の効率化を目指し、納品量を平準化するデジタルBPOサービスです。従来の勘や経験に頼る補充量の計算ではなく、お客様の要件に基づいた補充ロジックをシステムとして構築し、自動的に補充数を算出することで、補充数算出稼働を削減します。適頻度適量での納品を実現することで、店舗などの在庫過多や欠品を抑制し、さらに荷受け稼働も平準化することができます。

#### (2)特徴

##### ①システムを活用して、補充数を自動で計算

- ・お客様ごとに補充業務の現状をヒアリングし、補充要件をロジック化
- ・イベント情報を加味した需要予測に基づく補充数計算が可能
- ・需要動向や商品ライフサイクルなどに応じた在庫管理を行い、在庫量を適正化

##### ②適頻度適量での平準化された納品を実現

- ・納品量が基準（トラック積載量等）を超える場合は、納品を前倒し
- ・各曜日ごとの納品量や、納品体積をコントロールすることで、納品量を平準化
- ・在庫が少ないものの納品を優先し、通常の補充に加えて緊急補充も行い欠品を抑制

##### ③運用開始後も継続的な改善をサポート

- ・補充数算出にかかわる日常の運用をNTTロジスコが代行し、マーケットの変化や販売戦略の変更に応じて、システム設定のメンテナンスを実施
- ・KPIを設定し月次等でチェックを行い、さらに在庫や納品のデータ分析や物流現場との連携を通じてKPI悪化の原因を追及し、継続的な改善をサポート

# こんなお悩み抱えていませんか？



## お悩み

補充数の算出に稼働がかかっている



サプライヤー

※ロジスティクスDXソリューションでは  
サプライヤーへの発注から店舗・事業所  
への補充まで全体をカバーしています



物流拠点<DC>



物流拠点<RDC>



店舗・事業所

## お悩み 納品元 (物流拠点<DC/RDC>)



物流クライシス

出荷波動に合わせたトラックや作業員の  
手配が困難になってきている



物流クライシス

トラックの積載率や作業員の稼働率が  
低い日がある

## お悩み 納品先 (物流拠点<RDC>/店舗・事業所)



RDCの入荷 店舗の入荷

1回の納品量が多く、荷受けができない  
少ないと稼働率が下がる



RDCの入荷 店舗の入荷

経験と勘に頼った補充数算出により、  
欠品や在庫過多が発生している

# スマートリプで解決できます！



## 解決！

お客様の要件に応じた補充ロジックで、  
補充数をシステムで自動算出。  
勘や経験に頼らず、算出稼働も削減

必要データ連携

## スマートリプ(納品平準化ソリューション)

- データドリブンの補充数計算で解決！
- 平準化した適頻度適量での納品で解決！



サプライヤー

※ロジスティクスDXソリューションでは  
サプライヤーへの発注から店舗・事業所  
への補充まで全体をカバーしています



物流拠点<DC>



物流拠点<RDC>



店舗・事業所

## 解決！ 納品元 (物流拠点<DC/RDC>)



計画的な人員手配により、物流拠点での  
オペレーションが安定



納品量が平準化されることにより、  
トラックを安定的に手配できるようになり、  
積載率も向上

## 解決！ 納品先 (物流拠点<RDC>/店舗・事業所)



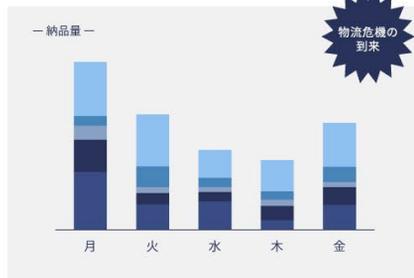
データドリブンの補充数計算によって  
補充基準を標準化し、店舗の欠品や  
在庫過多を抑制



納品量が平準化されることで、  
荷受け稼働を平準化

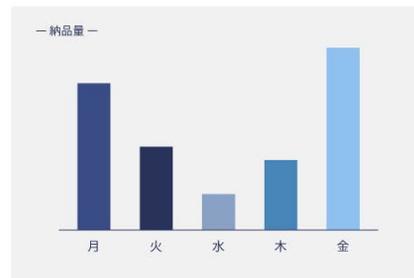
# (参考) NTTロジスコが目指す『適頻度適量』での納品

CASE 1 多頻度小口での納品



- 問題点
- 発注コスト増加
  - 商品ハンドリング負荷大
  - 非効率なトラック配送
  - 高い環境負荷

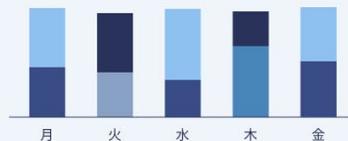
CASE 2 大口での納品



- 問題点
- 欠品による販売機会損失
  - 在庫コストの増加
  - 物流波動が大きい
  - 保管コスト増加
  - 売れ残りの廃棄

目指す姿

## 平準化した適頻度適量での納品



- ✓ データドリブンによる自動補充
- ✓ 平準化アルゴリズム

### 期待される効果

2024年問題への対応  
トラック積載率の向上



補充数算出の稼働削減  
属人化した業務からの脱却



環境経営への貢献



物流センターの業務安定化



自動化設備の稼働率向上



納品先の在庫と欠品を抑制



NTTロジスコは、経営ビジョン「私たちはお客様の物流を進化させ続け、お客様と社会に美しく透明な流れをつくる会社です」の実現に向け、お客様にご満足いただける安全かつ最先端の物流を提供し続けるとともに、お客様のサプライチェーン最適化に貢献するサービス・ソリューションを提供します。これらを活用し、客観的な視点でのご提案により、サプライチェーンにおけるプレイヤーをつなぐ「サプライチェーン・トータル・コーディネーター（SCTC）」を目指していきます。

▼ スマートリブ（納品平準化ソリューション）NTTロジスコ公式Webサイト

<https://www.nttlogisco.com/service/smartreplenish/>

<本件に関するお問合せ>

企画総務部 広報担当

TEL 03-6436-8105

URL <https://www.nttlogisco.com/>